

CO・OP

京都の生協

2007/August/No. 63
京都府生活協同組合連合会



障害のある人もない人も、ともにシンクロの楽しさを！

障害者シンクロナイズドスイミング——それは水と音楽と仲間とともにつくりあげる世界

Talk Talk トークとーく

●日本障害者シンクロナイズドスイミング協会 会長 もりた みちよ 森田美千代さん

●京都府生活協同組合連合会 会長理事 こばやし ともこ 小林 智子

対談

TalkTalk

トークとーく

障害のある人もない人も、ともにシンクロの楽しさを！ 障害者シンクロナイズドスイミングー

それは水と音楽と仲間とともにつくりあげる世界

日本障害者シンクロナイズドスイミング協会 会長

森田 美千代さん

京都府生活協同組合連合会 会長理事

小林 智子

京都市障害者スポーツセンター（左京区高野）

師として働くかたわら、学生時代のアスリートと

のプールでは、脳性マヒの人、義肢を装着した人、一見ただけでは障害があるのかどうかわからない人など、いろいろな人が週一回、シンクロナイズドスイミングの練習に取り組んでいます。その指導にあたっては森田美千代さんは、小学校教

としての働くかたわら、学生時代のアスリートとしての経験を生かし、「できないことも、練習すれば、きつといつか少しでもできるようになる。水のなかで自由を得る楽しさを、障害の重い人にも味わってほしい」という願いを胸に、障害者シンクロの普及に情熱を注いできました。

障害が重くても、シンクロならできるー！

小林 先ほど障害者シンクロの練習を拝見したのですが、練習が終わった後の晴れやかな笑顔が、とても印象的でした。

森田 シンクロは、水中での演技を通して自分を表現するスポーツですから、顔の表情もとても大切です。陸上ではむずかしい動きも、水の特性を利用することで自由にできたりしますから、障害のある方にとっては、解放感があるのではないのでしょうか。ほんとうにすばらしい笑

顔をを見せてくださいます。小林 じつはわたし、カナヅチなんです（笑）。そんなわたしからすると、泳げるだけでもすごいのに、水中で演技をするなんて尊敬してしまいます。とくに驚いたのは、プールサイドまで車椅子を押してもらって、抱きかかえられてプールに入った方が、水中でひとりで演技されたこと。その姿に圧倒される思いがしました。シンクロは、障害の重い人でもできるんですか。

森田 できます！ 障害が重い方でも、工夫しだいです。泳げなければ歩けばいいですし、1人で浮くのがこわければパートナーに支えてもらえばいいのです。視覚に障害がある方には声をかけ、聴覚に障害がある人には肩をトントンたたいて合図をすればいい。そういう工夫をすれば、障害が重い方でも楽しむことができるんです。

小林 水にはすごい力があるんですね。

C/O/N/T/E/N/T/S

トークとーく対談	2
障害のある人もない人も、ともにシンクロの楽しさを！	
「きょうと食育ネットワーク」が結成総会	7
京都府消費者団体との意見交換会開催	7

京都府生協連第54回通常総会開催	8
国際協同組合デー 第18回 京都集会開催	10
ピースアクション2007～京都市内をピースパレード	12
生協法改正法案が全会一致で可決・成立しました	14
●改正生協法を学習	14

消費者団体訴訟制度、6月7日よりスタート！	15
●消費者団体訴訟制度の施行にあたって	15
●京都府災害ボランティアセンターフォーラム	15
おもな行事のお知らせ	16
探訪 こどもみらい館	16



日本障害者シンクロナイズドスイミング協会
会長

森田 美千代さん

小林 障害者シンクロにはどんな種目があるんですか。
森田 ソロ、デュエット、トリオ、チーム、フリーコンビネーションがあって、ソロ以外、つまり複数で演技する場合は「メンバーの半数以上を障害のある人で構成する」と

入るだけでも運動になるのです。でも、歩くだけではつまらないですよ。その点、シンクロは音楽や仲間といっしょに作品をつくっていきます。障害の重い人でも、水のなかでは、気持ちも自由になって、仲間にも囲まれているから、「楽しい」とおっしゃいますね。

パートナーも チームメイトの仲間

森田 水中は、温水プールとはいえ冷たいので、体温を奪われまいとするエネルギーが働きます。水圧もあり胸までつかれるので、それに対抗して息をつよく吸おうとして、呼吸筋もきたえられます。それほど意識しなくても知らない間にそんな力が働いているのです。抵抗も大気中にくらべてはるかに大きいので、歩くだけでも運動になりますし、水

いうルールがあります。

小林 そうすると、いっしょに泳ぐパートナーの存在も大事ですね。

森田 障害者シンクロの場合、パートナーはかならずしも障害のない人とはかぎらなくて、障害のある人同士でパートナーになることもあります。障害があってもなくても、

森田 そうですね。ですから、重度の障害をもつお子さんとお母さんで構成しているチームでは、お母さんたちはたんに訓練とか介助として水に入るのではなく、演技のパートナーとして参加して、チームの一員として楽しみ、すてきな笑顔で表現しています。



京都府生活協同組合連合会 会長理事

小林 智子





森田 私も生協の組合員なんです。キャリアはもう30年ぐらいかな(笑)。利用は主に店舗ですけど、子育て中は本当に助かりました。

水の力を利用して 自分の可能性にチャレンジする

小林 より美しく見せるためには、選曲や振り付けも大切なポイントだと思えますが、障害のある方の場合、とくに振り付けに工夫が求められるのではないのでしょうか。

森田 私は学生時代にシンクローの選手だったので、最初は「一つひとつの技を簡単にすればいいやん」ぐらいに軽く考えていたのですが、「技を簡単にする」というのは、じつはとてもむずかしいことなんですね。

小林 というと？
森田 足を上げたり逆立ちしたりするのはむずかしいだろうから、足は上げずに曲げるだけにしようと思っただけ、それがむずかしいんです。そこで、「簡単にする」ので

はなく、「この人には何ができるのか、何ならうまくいくのか、どうしたら水中で自由を獲得できるのか」というように、発想を転換してみました。

小林 あくまで演じる人を主体にしようという考え方ですね。

森田 そうすると、「足を上げられない人は、無理に上げなくてもいい。シンクローは、水や音楽や仲間のおかげで自分を表現し、一人ひとりの『できないことをできるようにしたい』『できることをふやしたい』という気持ちを大切にして、自分の可能性にチャレンジしていくスポーツなんだ。それを水の力を利用して実現するのがシンクローであって、一糸乱れず演技するだけがシンクローで

はない」と思うようになりました。
小林 動きは一人ひとり違うんですか。

森田 もちろん、ソロ演技はその人の状態に合わせた振り付けを考えます。でも、複数で演技する場合は、いろいろな障害の人がいて、しかもチームの動きとして美しく見せることが大事なので、「この動きなら、みんながやれるね」とか「右手が上げられない人は左手を上げたらいいし、両手を上げられる人はどちらかに合わせた方がいい」というスタンスで創るようにしています。

小林 だれもが楽しめて、しかも美しく見せる。そんなシンクローを追求してこられたんですね。

森田 そういう気持ちで目の前にいる人たちといっしょにシンクローを創っていたら、だんだん広がってきたという感じですね。

障害者シンクローの「甲子園」とよばれる京都

小林 森田さんは学生時代にシンクローの選手をなさっていたというお話でしたが、そのころから障害者シンクローの試みは始まっていたのですか？

森田 いえ、障害者シンクローが始まったのは約25年前ですから、私

は、「京都障害者スポーツ振興会」というボランティア団体があって、

陸上や水泳などさまざまな障害者スポーツを支援していますが、水泳の分野の取り組みのひとつに障害者水

泳教室がありました。練習は週1回・3カ月で終了でしたから、参加者の方がたから「もつと泳げるよう

になりたい」「いろいろな泳ぎ方を覚えたい」という声が出てきたんです。それに、ボランティアの側でも「いろいろな障害をもつ方にスポーツの楽しさを味わってほしい」という願いがありましたので、その両方の思いを重ねて、シンクローをしてみようということになったんです。

小林 障害者シンクローの演技が発表されるようになったのはいつごろから？





森田 水泳教室が1982年に始まって、まもなくその卒業生のみなさんとシンクロの練習を始めるようになって、最初は、全京都障害者総合スポーツ大会の水泳大会のエキシビジョン（公開演技）で発表することを目標にしました。その後もずっと練習をつづけて、1988年の京都国体の年、同じように京都で開催された第24回全国身体障害者スポーツ大会（障害者国体）で、障害がある人となない人のシンクロを発表しました。これは公開演技としては国内で初めてで、おそらく世界でも初めてだろうといわれています。

小林 ということは、京都は障害者シンクロ発祥の地なんですね。

森田 そうなんです。その後、少しずつ他府県にも広がりはじめて、もっと交流したいという声が出てくるようになったので、「全国的な交流の場をもちませんか？」と京都から呼びかけました。そして1992年、第1回障害者シンクロロナイズドスイミングフェスティバルが、京都で開催されたんです。1回目の参加者は51人でしたが、いまでは300人以上の規模になっています。

小林 フェスティバルは今年で16回目でしたが、開催地は毎年、京都ですか？

森田 はい。6回目以外は、この京都市障害者スポーツセンターのプールが会場ですから、障害者シンクロの世界ではここが高校野球の「甲子園」にあたるんですね（笑）。

小林 今年のフェスティバルは私も拝見しました。観覧席もあふれるような熱気でしたが、あれは「甲子園」の熱さだったんですね。

森田 たとえば知的障害をもつて共同作業所に通う長野県の青年は、「京都に来るために」と、一生懸命に働いて、わずかな作業所の賃金のなかから少しずつ貯金をしているんですよ。シンクロは「見せるスポーツ」ですから、全国規模の発表の場があるということはとても励みになるんです。みなさん、「来年も京都に来たい。必ずまた来ます」といってくださいるので、その声を励みに、実行委員会としてもできるかぎりのおもてなしをしようとかんばっています。

シンクロが変える家族と生活

小林 お話をうかがっていると、シンクロは障害をもつ人を生き生きさせる力をもっているようですね。

森田 私たちは「より障害の重い人にスポーツの楽しみを」と願っています。先ほどお話ししたように、シンクロという種目はその願いを可能にしてくれます。

森田 それに、お父さんといっしょに水に入る子がいったり、重度の人の場合はご家族が送迎されることも多いの

森田 私たちは「より障害の重い人にスポーツの楽しみを」と願っています。先ほどお話ししたように、シンクロという種目はその願いを可能にしてくれます。

小林 私たちは「より障害の重い人にスポーツの楽しみを」と願っています。先ほどお話ししたように、シンクロという種目はその願いを可能にしてくれます。

森田 それに健康管理にも関心が出てきます。フェスティバルで発表するためには練習が必要ですから、寒い冬の日も、暑い夏の日も、

森田 それに健康管理にも関心が出てきます。フェスティバルで発表するためには練習が必要ですから、寒い冬の日も、暑い夏の日も、

森田 それに健康管理にも関心が出てきます。フェスティバルで発表するためには練習が必要ですから、寒い冬の日も、暑い夏の日も、

森田 それに健康管理にも関心が出てきます。フェスティバルで発表するためには練習が必要ですから、寒い冬の日も、暑い夏の日も、





森田 障害者専用プールという点では、京都市内はこのプール（京都市障害者スポーツセンターのプール）がありますが、府内他地域にはありませんし、民間の一般的なプールは障害者の方にはなかなか使いくいものです。それに、競泳は1コーラスあれば練習ができますが、シンクロはプール全面を使う必要があ

るので、練習用プールを確保するのはたいへんですね。京都のチームは、全面を使っても練習できるので、他府県のチームはなかなかむずかしいようです。フェスティバル前日にここで練習するのがプール全面を使う初めての体験という人もいらつしゃいます。幸い、私たちはこの施設の職員のみなさんご厚意にずいぶん助けられています。障害者のスポーツ施設をもっと充実させてほしいですね。それに指導者ももっとふえてほしいと思います。

小林 物的にも人的にも、もっとと資源を充実させれば、障害者シンクロの人口はもっとふえるでしょうし、それこそ本物の自立支援につながるでしょうね。

森田 昨年はカナダから選手が参加してくれましたので、今後は海外の人たちとも協力して、シンクロの魅力の世界中に広げていきたいと思っています。それと、地元京都府内に水泳、シンクロを楽しむ方がた

小川 京都市協会の共同作業所の連絡会「きょうされん」と協定を結んで、地域内の生協組合員と共同作業所がしつかりつながり合い、署名やバザーなどのイベントに共同して取り組んでいます。でも、昨年、障害者自立支援法ができた結果、作業所に通えなくなる人が出るなど、かえって障害をもつ方の社会参加が後退しているようで、私たちも残念に思っています。障害者スポーツをめぐる状況はいかがですか。

森田 ほんとうにそう思います。もし「やってみたいわ」という方がいらしたら、遠慮なく「やりたい」と声を出してみてください。けっこう「私なんかできないわ」と思わないでほしい。私たちはどこにでも出かけて行ってお手伝いさせてもらおうと思っていますので。

小林 私たち生協は生活者の相互扶助組織として、福祉事業に取り組み一方、共同作業所との連携や、組合員同士による助け合いの活動として、たとえば視覚に障害のある組合員に商品カタログの内容をテープに録音してお渡しする活動などに取り組んできました。そうした経験を生かして、今後も障害のある人もない人もともに生きる地域のパートナーとして歩んでいきたいと思っています。今日はお忙しいなかをありがとうございました。

障害者の「ホンモノ」の自立支援へむけて

導方法はシンクロの指導に生かすことができませんし、障害者シンクロにかかわっているからこそ他分野の方

がたと出会うことができ、その経験や見聞は教師の仕事のなかで生かされます。私にとって障害者シンクロ

は、教師としてがんばるエネルギー源になっているのかもしれないですね。

（写真撮影：有田知行）



森田美千代さんのプロフィール

1953年生まれ、京都市出身
小学生より、シンクロを始める
1976年より、京都市立小学校教諭
日本障害者シンクロナイズドスイミング協会 会長
京都障害者スポーツ振興会 理事

「きょうと食育ネットワーク」が結成総会

6月6日(水)、京都府公館レセプションホールで、食育に取り組む関係団体が「きょうと食育ネットワーク」を結成、総会を開催しました。行政や教育、農水産団体、消費者団体など80団体から100人が参加。それぞれの特性をいかしながら食育を推進することを目的に連携することを確認しました。

代表に今里滋・同志社大学大学院教授、副代表に大谷貴美子・京都府立大学教授、玉川和子・京都栄養士会会長、十川洋美・京都府農業協同組合中央会常務理事「当時」、森川滋夫・京都府学校給食研究



きょうと食育ネットワーク結成総会



開会のあいさつをする結成発起人代表 今里 滋教授



大谷貴美子・京都府立大学教授による話題提供

2007年度統一テーマを「朝ごはんを食べよう!」としたほか、会員団体の食育取り組み情報を収集、ホームページ・メールマガジンなどにより提供すること、食育取り組みのモデル的な事例を調査し、事例発表会を開催することなど、本年度の事業計画を決めました。より多くの府民が食育に関心をもち、食育にたいする意識をたかめるために、「きょうと食育強化月間」を11月に設定することとしました。

当日の併催行事として、「食育ネットワークの必要性」のテーマで大谷貴美子・京都府立大学教授が話題提供。京都市内の小学校で食育にたずさわった経験を紹介しながら、京の食文化のすばらしさに気づくことが食への興味・関心を引き出し、みずからの食行動の変化につながると強調しました。そのほか、食育キャラバン隊と京都府食生活改善推進員連絡会が事例発表しました。

京都府生協連からは坂本事務局長、川端事務局担当が出席しました。

京都府消費者団体との意見交換会開催

6月8日(金)、京都生協コープパリティを会場に、京都府食の安心・安全プロジェクト主催による京都府消費者団体との意見交換会が開催されました。

今回のテーマは、トレーサビリティ・システム。食品に情報を結びつけ、その情報を記録して残しておくことで、製品の履歴・所在の把握・情報の検索が可能になるトレーサビリティ・システムについて、京都府での取り組みが報告されました。こうしたシステムが確立されていれば、問題が発生した場合の原因のすみやかな特定、対象商品を特定した迅速な回収、安全な他の流通ルートの確保などが可能となることが説明されました。

「いまはまだはじまったばかりだが、とてもよい制度なので、もっと普及するように世論が高まればよい」などの感想が出されました。当日の参加者は京都生協、コンシューマーズ京都など18人で、京都府生協連からは、廣瀬理事、坂本事務局長、川端事務局担当が出席しました。

ついで、鶏卵・鶏肉、野菜にかんして、それぞれのトレーサビリティの取り組みについて説明があり、生協店舗でトレーサ可能な商品がどの程度陳列されているか、見学しました。また、携帯電話を使っている情報の引き出し方などについて、実際に体



実際に携帯電話を使っている説明を熱心に聞く参加者



通常総会開催

総会アピールを採択



6月12日(火)、池坊学園洗心館にて開催しました



開会のあいさつをする
小林智子会長理事

6月12日(火)午後1時30分より、池坊学園洗心館で、「京都府生活協同組合連合会 第54回通常総会」を開催しました。

今総会の代議員総数は41人で、当日の代議員出席は38人(うち委任出席3)、役員・来賓ほかあわせて、80人の参加となりました。小林智子会長理事が開会のあいさつをのべ、つづいて「来賓の京都府知事山田啓二さん(代理・京都府商工部次長 田中準一さん)、京都労働者福祉協議会会長 木戸美一さんから、ご祝辞をいただきました。

祝電・メッセージをお寄せいただいた方がた

(敬称略・順不同)

自由民主党衆議院議員	山本	ともひろ
自由民主党衆議院議員	中川	泰宏
自由民主党衆議院議員	いざわ	京子
民主党衆議院議員	前原	誠司
民主党衆議院議員	山井	和則
民主党衆議院議員	泉	ケンタ
民主党衆議院議員	北神	けいろう
民主党参議院議員	松井	孝恵
日本共産党衆議院議員	榎井	さと
日本共産党参議院議員	市上	忠文
京都府議会議長	家元	頼義
京都市長	榊本	石川
京都府社会福祉協議会会長	立原	立石
京都市社会福祉協議会会長	立原	立石
京都商工会議所会頭	立原	立石
J A 京都中央会会長	立原	立石



京都労働者福祉協議会
木戸美一会長



京都府 山田啓二知事 代理
京都府商工部 田中準一 次長

した。あわせて京都府議会議長、京都市長、国会議員、各関係団体、各生協などからいただいた77通の祝電・メッセージをご紹介します。

提案された6つの議案について、1〜5号の各議案は満場一致で可決・承認されました。6号議

今回退任された役員

理事 小川 正さん
(京都府庁生協総括常任理事)

理事 鎌部 千津子さん
(京都生協常任理事)

案役員補充選挙については、立候補者が定数内であったため、役員選挙管理委員会より、定款と役員選挙規約にもとづき全員を無投票当選とすることが報告されました。今回、退任された理事は、小川 正さんと鎌部千津子さん。新しく理事になられたのは、小山敏子さんと笠谷敏子さんのお二人です。

さいごに、総会アピール「生協によせられている社会的な期待にこたえ、協同の輪をひろげていきましょう」を採択しました。

総会アピールを採択

第54回通常総会アピールは、小野留美子理事が提案し、全体で拍手確認しました。アピール(一部略)を紹介します。



生協によせられている社会的な期待にこたえ、協同の輪をひろげていきましょう

本日、京都府生活協同組合連合会では第54回総会を開催し、京都における生協への加入組合員数が65万8000人を数え、地域・学園・職域・医療・共済などの多くの分野で、旺盛な事業と活動をすすめていることを確認しました。

今年、日本国憲法が施行されて60年の節目にあたりますが、憲法を改定して、「戦争をしない国」から「戦争をする国」へ、日本の国のあり方をおもとから変えようとする動きがいつそ強まっています。戦後の生協活動が、「平和とよりよい生活のために」を合言葉に新しいスタートをきったことの意義をしっかりとたしかめあうことが、なにより大切になっています。

生協はこんにち、全国で36

2007年度体制 7月10日現在 (敬称略)
*は新任

- 会長理事 小林 智子
(京都生協理事長)
- 副会長理事 平 信行
(京都大学生協専務理事)
- 専務理事 小峰 耕二
(京都生協常務理事)
- 常任理事 佐藤 京子
(やましろ健康医療生協理事長)
- 常任理事 沼澤 明夫
(大学生協京都事業連合専務理事)
- 理事 栗飯原 利弘
(龍谷大学生協専務理事)
- 理事 大塚 正文
(京都機学園生協専務理事)
- 理事 小野 留美子
(乙訓医療生協専務理事)
- 理事 笠谷 敏子*
(京都生協常任理事)
- 理事 金谷 薫
(全京勤労者共済生協専務理事)
- 理事 小山 敏子*
(京都府庁生協総括常任理事)
- 理事 酒井 克彦
(立命館生協専務理事・池坊学園生協専務理事)
- 理事 吹田 知久
(京都府医大・京都府大生協専務理事)
- 理事 高田 艶子 (員外)
- 理事 田中 弘
(京都医療生協専務理事)
- 理事 中本 式子
(生協エル・コープ理事長)
- 理事 羽賀 省二
(京都教育大学生協専務理事)
- 理事 廣瀬 佳代 (員外)
- 理事 松浦 順三
(京都工芸繊維大学生協専務理事)
- 理事 三宅 智巳
(同志社生協専務理事)
- 監事 島田 浩
(京都府庁生協監事)
- 監事 佃 政治
(京都大学生協常務理事)
- 監事 新堀 悟史
(乙訓医療生協理事)
- (事務局)
事務局長 坂本 茂子
事務局長 牧野内 孝子
事務局担当 川端 浩
渉外・教育担当 原 強

京都府生協連 第54回

全議案を満場一致で可決・承認、

14人が活発に発言

当日は、14人の代議員・理事・オブザーバーから、食の安全・くらしの安心、大学生協の活動、医療制度改革と経営への影響、平和の取り組みなどについて活発な発言がありました。これらの発言をふまえ、小峰専務理事は、「この1年の多様な活動について報告をいただいた。これらを連合会の活動のなかにしっかりと受けとめさせていっていて、みなさんがたといっしょに活動をすすめてまいりたい」とのまとめをおこないました。



「まとめ」報告をする
小峰専務理事



京都府立医大・
府立大生協
石角敏明 代議員



大学生協の平和の
取り組みについて
学長賞受賞につながる
活動について
大阪府立大
岡本拓郎 (オブザーバー)



京都工芸繊維大生協
佐藤真輔 代議員



同志社生協
足田利政 代議員

設立50周年を迎えた
同志社生協の取り組みについて



立命館生協
武部礼子 代議員



京都府庁生協
小山敏子 代議員



乙訓医療生協
米重恭子 代議員



京都生協
平野裕子 代議員



生協エル・コープ
佐々木郁子 代議員

食と農・
食音の取り組みについて



京都生協
山本祐司 代議員



京都府生協連
佐藤京子 常任理事



京都生協
長谷川典子 代議員



京都医療生協
あざみ祥子 代議員



やましろ健康医療生協
上坂光彦 代議員

医療・介護、社会保障を
めぐる取り組み

00万人をこえる国民の自発的な組織として、大きく成長発展しています。60年ぶりにおこなわれた法改正では、生協がはたしている社会的役割を高く評価し、その役割にふさわしい生協のガバナンス(組織運営)の確立をもとめています。

京都においては生協運動をになうわたしたちは、今回の法改正の意義と内容をしっかりと受け止め、社会的な信頼と期待にこたえていく必要があります。組合員のねがいにこたえる事業をすすめるとともに、消費者重視の新しい社会経済システムづくり、少子高齢化のもとでの地域コミュニティづくりにいっしょに貢献するため、地域・学園・職域・医療・共済などの分野で、協同の輪をさらに大きくひろげていきたいと思います。また、地域社会の一員として、さまざまな団体・個人と手をつなぎ、連帯の輪をひろげていきたいと思います。

2007年6月12日

京都府生活協同組合連合会



2007年
国際協同
組合デー

第18回 京都集會開催

「京都の農林水産業の未来を開くために 協同組合の役割を考える」がテーマ

国際協同組合デー 京都集會 主催 京都府協同組合連絡協議会



開会あいさつされる京都府森林組合連合会・青合幹夫代表理事専務

7月4日(水)、キャンパスプラザ京都を会場に、「2007年国際協同組合デー・第18回京都集會」が開催され、JA、JF、森連、生協から135人が参加しました。

これは、京都の協同組合運動の発展を願い、毎年開催されているもので、主催は京都府協同組合連絡協議会(構成/JA京都中央会・JF京都府漁業協同組合連合会・京都府森林組合連合会・京都府生活協同組合連合会)。

ことは、「京都の農林水産業の未来を開くために」協同組合の役割を考える」をテーマに、研究最前線からの4つの報告と、それぞれの協同組合から元氣な若い担い手たちの活動報告がおこなわれました。

第18回京都集會は、JA京都中央会・西浦美智代総務部長の司会で開会、京都府森林組合連合会・青合幹夫代表理事専務より開会のあいさつがありました。

つづいて、「研究最前線からの報告」京都の農林水産業の未来を開く」とのテーマで4人の研究者による報告がありました。

報告は、「どこまで農業を少なくて済むか」「虫が森林(も)を枯らす」「資源と環境にやさしい底曳網」「セリシン」絹からのおくりもの」と今日の関心のおよぶ内容で、参加



閉会あいさつをする小林智子会長理事

者からも「それぞれの分野での熱心な研究を知る機会がもててよかった」「シロウトの消費者を相手にわかりやすく工夫された内容で興味深く聞くことができた」などの声が寄せられました。

各連からは、「農業と私」「地先学・地元の食材探しの取り組みについて」「町から山に来て」「配達現場から」の内容で活動報告がありました。

参加者から、「仕事にたいして真つ向からぶつかり、取り組んでおられるといった印象でした。すばらしいことだと思う」「現場のみなさんの意見を実際に聞いたのはほんとうに意義深い。熱い思いが感じられました」「おのおのが未来は明るいといわれたのが印象的でした」などの感想が寄せられました。

さいごに、京都府生活協同組合連合会・会長理事小林智子より閉会のあいさつがありました。

研究最前線からの報告 ～京都の農林水産業の未来を開く

どこまで農薬を
少なくできるか

京都府農業総合研究所環境部技師

徳丸 晋氏



近年、消費者だけでなく生産農家の農産物にたいする安全志向がよくなり、化学農薬以外の防除技術の開発がもたらわれています。害虫を防除する方法として、天敵昆虫やフェロモンをつかった生物的防除法、虫の好きな色・嫌いな色を利用しての光や防虫ネットなどをつかった物理的防除法があります。これらは実際に京都府内の野菜農家などに普及してきています。

虫が森林(もり)を
枯らす

京都府林業試験場技師

野崎 愛氏



最近テレビや新聞などで、森林の「マツ枯れ」「ナラ枯れ」とよばれる病気は酸性雨や大気汚染によるものであると報道されていますが、じつは原因になる病原体を昆虫が樹体内に運搬し枯死させていることを実験によってつきとめました。大きな木に網をかけての実験はたいへんでしたが、マツやナラの枯死のメカニズムを解明することができました。

資源と環境に
やさしい底曳網

京都府立海洋センター海洋調査部主任研究員

山崎 淳氏



底曳網の中には一度に多くの魚介類が入ります。このなかには水揚げしない魚介類が多くふくまれ、これらは海上で捨てられ、ほとんどが死んでしまします。海洋センターでは水揚げする魚介類だけをとるような網の技術開発をおこなっています。京都府底曳網漁業は、資源と環境にやさしい漁業に認証されるMSC(海洋管理協議会・本部は英国)をアジアで初めて取得する予定です。審査が通ればMSC認証ロゴマーク(いわゆる水産物のエコマーク)を付けることが認められます。

「セリシン」絹からの
おくりもの

京都府織物・機械金属振興センター織物室専門員

浜岡 容子氏



丹後ちりめんで有名な丹後の地は、古くから織物産業の町として栄え、近年は機械金属業・ハイテク産業も盛んになってきています。シルクの糸の成分の一つである「セリシン」は、すぐれた保湿効果があるにもかかわらず廃棄されてきました。研究をすすめた結果、丹後のオリジナルな方法として凍結解凍法を見出し、セリシン入りの化粧品「きぬもよふ」が商品化されました。これからもいろいろな分野での利用につなげたいと思います。

各連からの活動報告

J A、J F、森林組合、生協より活動報告がされました。

農業と私

J A京都やましろ青年部八幡市支部

西村 忠雄さん



地先学・地元の食材

探しの取り組みについて

ばつわう(宮津市漁協地区女性起業グループ)

嶋崎 郁子さん



町から山に来て

京丹波森林組合森林業務課技師

西田 和志さん



配達現場から

京都生活協同組合石京支部

山本 真弓さん



元気に、平和をアピールしました！

～京都市内をピースパレード

好天に恵まれた6月21日(木)、午後2時半、八坂神社石段下につきつぎとピースパレード参加者が集まってきました。京都生協はじめ、医療生協、大学生協、そして鳥取県の生協からも8人の組合員・役員が参加。その数あわせて約230人。出発式が短時間でおこなわれ、グループごとに代表がひとことアピールし、雰囲気もさらに盛り上がりしました。

3時15分ごろ、いよいよ出発です。「ピースパレード京都」の横断幕を先頭に、長い列がつづきました。道行く人にはピースメッセージ付きの花の種やうちわを配り、子どもにはアトバールンを渡し、みんなで♪「さんば(替え歌)」「風になって」「青い空は」などの歌を歌い、ピースアピールをおこないながら、四条通～河原町通～京都市役所までの京都市内目抜き通りを元気にパレードしました。

当日参加できない人は、ピースメッセージや折り鶴を託し、また準備に協力するなど、これまで以上の多くの方の平和への想いに支えられた取り組みになりました。

横断幕や傘の飾りつけ、平和のシンボル・鳩の飾り、ペットボトルを使ったマラカスなど、

出発式



ピースパレード実行委員長の渡辺初美さん



学生の筒井景子さん



鳥取県の生協のみなさん



歌唱指導いただいた森野喜代さん



この「千羽鶴」は組合員さんに折っていただいたもの(1,372羽集まりました)

ピースパレード



パレードの先頭。左より、京都生協の西山・前理事、小林会長理事、京都生協の山本専務理事



南座前

▲パレードの列がつぎまきました

各地でピースアクションが
取り組まれました！

●6/24(日)

向日市役所→長岡京市役所→
大山崎町役場→八幡市

あいにくの雨となったこの日、乙訓医療生協では34人が平和行進に参加し、昼食交流会もおこなわれました。京都生協乙訓行政区の組合員・職員など15人も参加しました。また、京都生協八幡行政区では組合員・職員が多数参加し、被り物・鳴り物・風船などで平和を訴えました。

●6/25(月)

宇治市役所→城陽市役所→
京田辺市役所・平和屋台村

好天に恵まれたこの日、やましろ健康医療生協、京都生協の南ブロックエリア(宇治・宇治田原・城陽・久御山・井手、京田辺の各行政区)の組合員・職員が平和行進に参加しました。京都生協組合員は休憩時にお茶をだして行進者の労をねぎらいました。京田辺平和クラブによる「平和屋台村」もおこなわれました。

●6/26(火)

精華町役場→木津川市役所→
奈良般若寺・奈良県へ

やましろ健康医療生協と京都生協組合員有志の行進参加がありました。京都生協相楽行政区の組合員はお茶だしに協力しました。

“平和”への想いをもち寄って 楽しく、



ピースアクション2007

アイディアいっぱい楽しさあふれるパレードに沿道からも声援がおくられました。

参加者の声

「はじめての参加でしたが、みんなまでワイワイお祭り気分でした。花の種をお渡しした通行人の方が、興味を示してじっと花の種の袋を見ておられたのが印象的でした」

「町中なので、歩行者の方も多かったし、車にたいしてもアピールできたと思います」

「四条通から河原町通と、京都のメインストリートを歩くのはじつに気持ちよいものです」

ピースアピール

- ★子どもたちに平和な未来をつくりましょう！
- ★核兵器では平和はつくれません！
- ★平和をつくるのはわたしたちです！



花の種

市役所前



反核京都産業人の会・野田宗一さんが、天狗の面をつけて京都市役所前でピースパレードのみなさんをお出迎え！



市役所についてホッと一息「だっちは重いよ〜」



ベビーカーの子どもも参加



楽しく平和をアピールしました！



まとめ集会であいさつする小林会長理事



さっそうと行進。「まだまだ歩けるよ！」



この横断幕は組合員さんから寄せられたメッセージでつくられています

「なぜいま原爆症認定集団訴訟なのか」の学習会を開催

7月31日(火)、ハートピア京都で、「なぜいま原爆症認定集団訴訟なのか」をテーマに学習会を開催しました。07平和・憲法学習企画の第1弾として、京都生協と京都府生協連の共催によるもので、組合員・役職員など約100人が参加しました。

講師の尾藤 廣喜弁護士(原爆症認定近畿訴訟弁護団・鴨川法律事務所)は、この裁判の持つ意義と早期解決の重要性について熱く語りました。ビデオ「被爆61年〜終わらない認定裁判〜」のDVDシエスタ版上映と原告・大坪郁子さんから裁判支援の訴えもおこなわれました。



生協法改正法案が全会一致で可決・成立しました

地域社会への貢献にむけて、よりいっそうの社会的責任をはたすことがもとめられます

59年ぶりの抜本的で総合的な改正

「消費生活協同組合法の一部を改正する等の法律案」が、4月20日参議院本会議、5月8日衆議院本会議で、全会一致で可決・成立しました。1948年の法制定 이래、59年ぶりの抜本的で総合的な改正となりました。

国会審議では、食の安全、環境、災害時の支援、福祉など、これまでの生協の活動を高く評価し、社会的役割のよりいっそうの発揮を期待する発言がたくさん出されました。

京都府選出・山井和則衆院議員が質問

地元選出の山井衆院議員が4月27日、衆院厚生労働委員会での質問に立ち、農薬等ポジティブリスト制、買い物袋持参、助け合いの会など、京都の生協の活動を具体的に紹介しながら、生協法改正の意義と期待について発言しました。

厚生労働大臣からは、家事援助や子育て支援、レジ袋削減など、「先駆的な取り組みもすめられており」その活動は国民生活の向上に大きな貢献をしてきた」との答弁がありました。また、高齢化や女性の社会進出がすすみ、消費者の安全・安心をもとめる意識が高まるなか、「これからの生協は相互扶助組織としておおいに期待される」などとのべました。

改正生協法の内容

改正生協法は、消費者のくらしの変化や生協の今日的な到達点、社会的な要請をふまえたものになっています。おもな改正点は、以下のとおり。

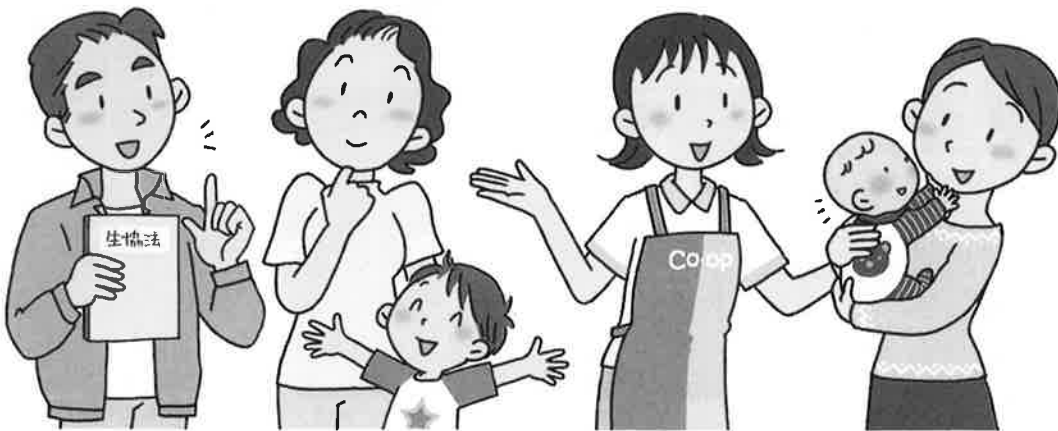
- ① 「県域規制」が緩和され、生活圏の実態にそって、生協が活動できることになったこと。
- ② 「員外利用規制」が緩和され、地域のニーズにひろく対応えられるようになったこと。
- ③ 共済事業を安心して利用できるよう、規定が整備・充実されたこと。

④ 機関運営の規定が見直され、理事会の権限を強化・明確化し、機動的な事業運営を可能とするとともに、監事の権限と独立性を強化するなど、バランスのとれた運営を可能にしたこと。

もとめられる社会的責任

改正された生協法は、こんごの生協の活動をささえる制度的な基盤となります。それぞれの生協が、あたらしい生協法のもとで、組織や運営の仕組みをどのように組み立てていくかがこんごの課題です。

組合員や社会の信頼と期待にこたえ、地域社会に貢献するための努力をかさねていくことがもとめられています。改正生協法の施行期日は、2008年4月1日となっています。



改正生協法を学習 第20回役員研修会

7月24日(火)、会員生協役員を対象に研修会を開催し、50人が参加しました。

日本生協連法規対策室長(改正生協法対策室長兼務)宮部好広氏が「改正生協法と対応すべき課題」と題して講演。改正生協法の趣旨・内容、とくにこの秋に各生協で政策的な検討が必要な課題について、くわしく報告しました。

開会にあたっては、京都府消費生活安全センター長・但馬幸伸氏があいさつされ、「改正生協法対応については健全な生協運営へむけて、協力して取り組んでいきたい」とのべました。



講師の宮部好広氏

消費者団体訴訟制度、6月7日よりスタート!

2006年5月31日、消費者団体訴訟制度の導入を盛り込んだ「消費者契約法の一部を改正する法律案」が成立し、07年6月7日、消費者団体訴訟制度がスタートしました。

この制度を実効性あるものとしていくためには、適格消費者団体だけでなく、生協などが消費者全体の権利として活用していくことがたいせつです。各地でネットワークを形成し、地域での情報収集活動や啓発活動をおこなったり、生協での消費者問題にかんする活動を充実させ、消費者からの声や被害情報

を適格消費者団体や行政機関に届けることが重要となります。

こんごは、特定商取引法、独占禁止法・景品表示法など、他の消費者関連法への消費者団体訴訟制度の導入や、被害救済・不当利得のはきだしにつながる損害賠償制度の導入も重要な課題となっています。



不当表示に団体訴訟制度を導入

公正取引委員会は、景品表示法で禁じた不当な宣伝・表示をした企業にたいし、消費者団体が個人に代わって差し止めをもとめることができる「団体訴訟制度」を導入する方針を固めました。

虚偽の製品表示やまぎらわしい広告により、消費者の被害が拡大することを未然に防ぐねらい。08年の通常国会に景品表示法改正を提出し、08年後半にも導入したい考えです。

消費者機構日本・消費者支援機構関西が内閣府に認定申請書を提出
京都消費者契約ネットワークも申請準備中

6月7日、消費者機構日本、消費者支援機構関西では、内閣府に制度を担う適格消費者団体としての認定を受けるための申請書を提出しました。京都消費者契約ネットワークも申請準備中です。

こんご、内閣府で認定の申請があった旨の公示や、認定の審査などの手続きがおこなわれ、3カ月程度の期間をへて認定の可否が決まる予定です。

京都府生協連は、消費者支援機構関西、京都消費者契約ネットワークの正会員として、積極的に活動に参加しています。

消費者支援機構関西のアピール(抜粋)を紹介します。

消費者団体訴訟制度の施行にあたって

2007年6月7日

特定非営利活動法人
消費者支援機構関西(KC's)

(一部略)

多くの消費者団体が創設を求めていた消費者団体訴訟制度が本日、施行されました。

消費者支援機構関西(KC's)は、消費者団体訴訟制度を担うべく、適格消費者団体になるための申請を、本日、内閣府に行いました。

この制度は、適格消費者団体に、消費者の視点で市場を監視し、不公正な取引を市場から排除する権利を付与するものです。私たちは、EU諸国で力を発揮しているこの制度が日本でも実効性のあるものとして活用され、消費者のために十分に活用される必要があると考えます。そのためには、意志と能力のある消費者団体が適格団体として認知され、活動を進めることが求められています。

消費者支援機構関西(KC's)は、消費者が安心して生活できる社会を実現するため、消費者団体訴訟制度に基づく訴権行使の担い手となります。消費者支援機構関西(KC's)は、日本や世界の諸団体と交流し、消費者団体訴訟制度を活用し、消費者被害の予防・拡大防止や救済に取り組みます。消費者支援機構関西(KC's)は、広く、消費者を支援し、消費者の権利を具体的に実現していく諸活動に取り組みます。

消費者団体訴訟制度の施行にあたり、消費者支援機構関西(KC's)は、多くの消費者、消費者団体、消費者問題専門家の協力、支援、参加を得て、21世紀にふさわしい消費者組織として活動していく決意を新たにします。

以上

京都府災害ボランティアセンターフォーラム

5月19日(土)、京都府災害ボランティアセンターフォーラムが、京都大学経済研究所・丸谷浩明教授を講師に迎えて、「効果的な市区町村域の災害ボランティアネットワークとは」災害ボランティアセンター運営と福祉救援(要配慮者支援)を考える」をテーマに開催されました。府内各地から約70人が参加。生協からは、京都生協組織運営部・伊澤佳子福祉活動担当と京都府生協連・牧野内孝子事務局次長が参加しました。



丸谷浩明先生のお話熱心に耳を傾けました

おもな行事のお知らせ

2007年度 京都府総合防災訓練

主 催：京都府
日 時：8月26日(日)9:00~12:00
会 場：メイン会場：京丹後市大宮町 丹後織物工業組合中央加工場グラウンド
※京都府生協連はJAグループとともに緊急物資搬送訓練に参加。

京都府協同組合「第7回 職員交流・体験学校」

主 催：京都府協同組合連絡協議会 (JA・森連・JF・生協連)
日 時：9月20日(木)11:30~21日(金)12:00
会 場：亀岡市
内 容：京野菜にかんする研修・産地見学、ライスセンター見学

平和・憲法学習会第2弾

主 催：京都府生協連
日 時：10月20日(土)午後2:00~4:00
会 場：キャンパスプラザ京都2階ホール
講 師：浜 広信先生(核戦争防止・核廃絶を訴える京都医師の会)
テーマ：「北東アジアの平和と日本の平和」(仮題)

2007 京都 たべるたいせつフォーラム

主 催：京都府生協連
日 時：11月7日(水)10:00~11:50(予定)
会 場：ハートピア京都

探訪

開設7年あまりで300万人が利用

京都市子育て支援総合センター「こどもみらい館」

少 子化が社会問題になっているなか、多くの子どもたちの歓声で連日にぎわっているのが京都市中京区にある京都市子育て支援総合センター「こどもみらい館」。土・日曜には郊外からの利用者も多く、地下の駐車場に車が入りきらない盛況ぶりです。1999年12月、京都市が開館しました。

「こどもみらい館」は、相談・情報発信・研修・研究の機能を柱に、保育所(園)・幼稚園・私立・市立・国立の垣根を越えた「共同機構」としての取組み(館内には、(社)京都市私立幼稚園協会、(社)京都市保育園連盟、京都市立幼稚園長会、京都市営保育所長会の4つの事務局も設置されています)を全国ではじめておこなうなど、先進的な事業を展開しています。

「こどもみらい館」の4つの機能の第1は、子育ての総合的な相談機能。第2は、家庭の教育力・養育力向上のための情報発信機能。第3は、「共同機構」として幼稚園教諭・保育士等の資質向上を図る研修機能。第4は、乳幼児の子育て支援の道標(みちしるべ)としての役割を担う研究機能です。

子 育ての悩みや不安についての相談方法としては、専門家による対面相談、健康相談のほか、電話相談もあります。

遊びと交流の場「こども元気ランド」では、遊びを通じて相談にのったり、子育ての楽しさを伝える場となっています。

“子 育ては親育ちから”をキャッチフレーズにした「子育て講座」も人気です。子育てパワーアップ講座をはじめ、子育てセミナー、子育て井戸端会議、すすく教室の4つの講座があります。また、「赤ちゃんと絵本のふれあい会」「お楽しみ会」が毎月1回開催され、3階の「子育て図書館」では毎日2回絵本の読み聞かせがおこなわれています。

館 内で活躍しているのがボランティアさんたち。おそろいのエプロンをつけて、受付や元気ランドの遊び場で、また図書館の書架整理や読み聞かせなど、あらゆるところで活動をしています。現在登録している方はあわせて300人以上にのぼります。ここではボランティアの養成・スキルアップなどにも取り組まれています。

2 006年度の利用者はのべ41万人。1日平均1,350人が来館したことになります。ことしの4月で開館以来の利用者は300万人をこえました。親どうしのあいだでは、「こどもみらい館へ行かした?」「はよ、行きよし」が合言葉になっているほどの評判です。



こどもみらい館外観



浅野明美館長を囲む「井戸端サロン」が毎月1回開催されています



絵本の読み聞かせに聞き入る子どもたち



大きなすべり台が人気の「こども元気ランド」



図書館は京都市内19図書館と連携し、一般貸出しも可能に

京都市子育て支援総合センター こどもみらい館

〒604-0883
京都市中京区間之町通竹屋町下る楠町
☎075-254-5001(代)

●開館時間●
午前9時~午後9時
(日曜日・祝日は午前9時~午後5時)

●休館日●
火曜日(祝日の場合は翌日)
年末年始(12/28~1/4)